

高知県感染症発生動向調査（週報）

2014年 第40週（9月29日～10月5日）

★お知らせ

○アデノウイルス感染症に注意して！

定点医療機関からのホット情報でアデノウイルスによる感染症が多数報告されています。アデノウイルスは咽頭結膜熱、咽頭炎、扁桃炎、肺炎などの呼吸器疾患、流行性角結膜炎などの眼疾患、胃腸炎などの消化器疾患や泌尿器疾患など多彩な臨床症状を引き起こします。予防方法としては、手洗い、うがいがあります。感染者との密接な接触は避け、タオルなどは別に使いましょう。

○インフルエンザに注意して！





定点医療機関からの報告数は、前週の0.21から0.10と減少しています。迅速診断では全てインフルエンザウイルスA型で、1～4歳が2人、40歳代が1人、70歳以上が2人になっています。報告は少ないですがこれから寒さも増すとともに、空気も乾燥し、ウイルスが活動しやすい時期となります。予防方法としては、手洗い、うがい、咳エチケット、予防接種などがあります。予防接種は免疫をつけ個人の発病及びその重症化を予防することを目的に接種します。かかりつけ医と相談し早めに受けるようにしましょう。

○感染性胃腸炎に注意して！

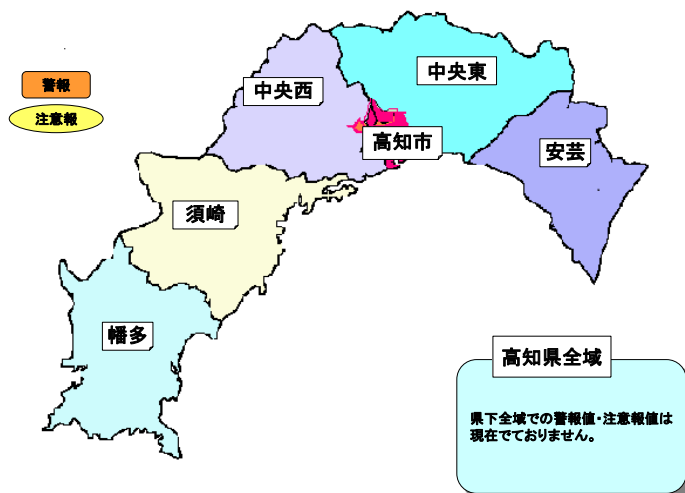
定点医療機関からの報告数は前週の1.70から2.20と増加しています。この病気は腹痛、下痢、嘔吐、発熱を主な症状とし、冬場に流行する代表的な感染症です。特にノロウイルスを原因とする場合、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。予防法で最も大切なのは手洗いです。排便後、また調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ：急増 ：増加 ：横ばい ：減少 ：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		2. 2 0	中央東、中央西、安芸で増加しています。
RS ウイルス感染症		1. 1 7	高知市、中央東で増加しています。流行のシーズンなので注意してください。
手足口病		0. 5 3	高知市、中央西で増加しています。
マイコプラズマ肺炎		0. 5 0	高知市で2人から3人に増加しています。
突発性発疹		0. 4 7	須崎、中央東で増加していますが、全体では減少しています。

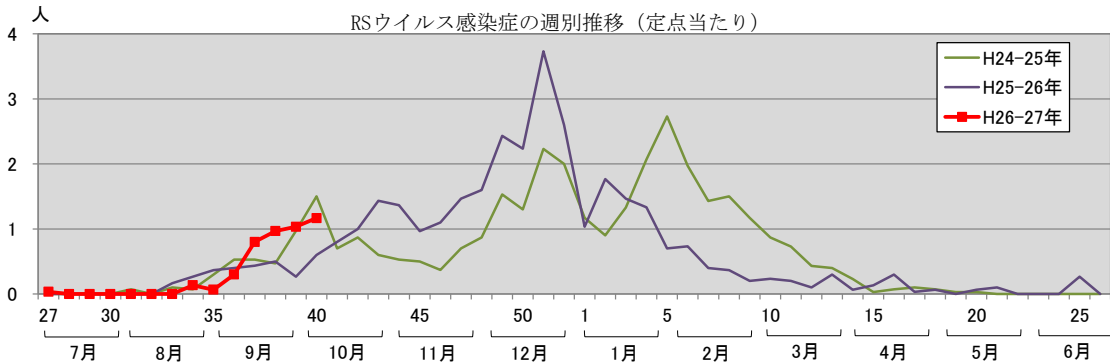
★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

○RSウイルス感染症：1.17 （注意報値、警報値：基準値無し）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.17（前週：1.03）と 5 週連続増加しています。地域別にみると、高知市（1.82：前週 1.18）中央東（0.86：前週 0.43）で増加しています。年齢別にみると、患者の約 98%が 2 歳以下になっています。



★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	5	108	80 歳代 (男)	安 芸
				40 歳代 (女)	中央東
				70 歳代 (男)	高知市
				70 歳代 (男)	幡 多
				80 歳代 (男)	幡 多
5 類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1	3	90 歳代 (女)	高知市
	後天性免疫不全症候群	1	2	40 歳代 (男)	

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
40	手足口病	1	男	高知市	Coxsackievirus A16
40	手足口病	1	女	中央西	Coxsackievirus A16
40	咽頭結膜熱	9	女	安芸	Coxsackievirus A2
40	胸痛症	8	男	幡多	Parainfluenza virus 3
40	急性上気道炎	1	男	高知市	Rhinovirus
40	急性肺炎	9	女	高知市	Rhinovirus
40	クループ症候群	1	女	中央西	Rhinovirus
40	喘息性気管支炎	1	女	須崎	Rhinovirus

前週以前に検出

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
35	不明発疹症	1	男	須崎	Rhinovirus
36	不明発疹症	11ヶ月	女	須崎	Human herpes virus 6
37	無菌性髄膜炎	11	女	幡多	Human herpes virus 6
					Human herpes virus 7
37	多形滲出性紅斑	12	女	須崎	Human herpes virus 7
37	不明発疹症	1	女	須崎	Human herpes virus 7
37	肺炎	2	男	中央西	Rhinovirus
38	不明発疹症	1	女	須崎	Human herpes virus 6
39	咽頭結膜熱 アデノ迅速+	1	男	安芸	Adenovirus 3
39	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Adenovirus 41
39	手足口病	16	男	須崎	Coxsackievirus A16
39	無菌性髄膜炎	6ヶ月	男	高知市	Coxsackievirus A4
39	急性上気炎	7	女	中央西	Echovirus 30

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	アデノウイルス扁桃炎 1例 (1歳男)
中央東	早明浦病院小児科	アデノウイルス感染性胃腸炎 1例 (1歳女) RSウイルス感染症 1例 (1歳男)
	あけぼの小児クリニック	带状疱疹 1例 (10歳) アデノウイルス感染症 1例 (2歳) RSウイルス感染症 1例 (1ヶ月)
	いちはら内科小児科	39w 大腸菌 O-18 (ペロ陰性) 1例 (37歳男)
	野市中央病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1例 (2歳男：マイコプラズマ抗原陽性)
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 3例 (8、19歳男、6歳女：咽頭迅速診断陽性) アデノウイルス扁桃炎 2例 (5歳男、6歳女)
	高知医療センター小児科	RSウイルス感染症 3例 (5ヶ月、1歳男、1ヶ月女) サルモネラ 1例 (7歳男) 病原性大腸菌 2例 (0ヶ月女 2人)
	細木病院小児科	39w カンピロバクター 4例 (1、13歳男、6、7歳女) サルモネラ 1例 (3歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	RSウイルス感染症 1例 (1歳女)
中央西	日高クリニック	アデノウイルス性扁桃炎 1例 (3歳男)
	くぼたこどもクリニック	アデノウイルス咽頭炎 1例 (1歳：日高村)
須崎	もりはた小児科	滲出性扁桃炎 (アデノウイルス感染症) 1例 (3歳男) 39w カンピロバクター腸炎 1例 (12歳男)
幡多	さたけ小児科	带状疱疹 1例 (5歳男)

★全国情報

第38週 (9/15～9/21)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核250例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症49例、腸チフス1例、パラチフス1例

4類感染症：デング熱22例、日本紅斑熱8例、レジオネラ症23例、レプトスピラ症3例

5類感染症：アメーバ赤痢11例、ウイルス性肝炎1例、急性脳炎4例、クリプトスポリジウム症1例

クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、梅毒4例、破傷風2例

後天性免疫不全症候群17例、侵襲性インフルエンザ菌感染症5例、侵襲性肺炎球菌感染症7例

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん3例、麻しん2例

報告遅れ：腸チフス1例、デング熱7例、日本紅斑熱6例、レプトスピラ症5例、急性脳炎5例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

★腸チフスー国外渡航歴のない感染者の増加 (2014年第34週以降) (2014年9月24日現在)

腸チフスはチフス菌 (*Salmonella Typhi*) の感染によって起こる全身性感染症であり、通常は8～14日間の潜伏期の後、徐々に発症する。発熱が主症状で、稽留熱、比較的徐脈、バラ疹、肝脾腫、腸出血等が認められる。抗菌薬の内服を行わなかった患者の約10%では、発症後3カ月間菌の排泄が認められる。患者の15～20%で再燃することがある。胆のうへの感染が持続し無症状病原体保有者となる症例は約2～5%である。

近年は、毎年20～35例前後が報告されており、その約7～8割は直近の海外渡航歴が明らかな、国外感染が強く疑われた症例 (以下、国外感染例) であった。しかし、2013年は9月末までに、発症前に明らかな海外渡航歴のない18症例 (以下、国内感染例) を記録した。フェージ型別により、このうち数例については関連性が疑われたが、感染源や各症例間の疫学的関連性は不明のままである。このように、腸チフス症例は海外での感染が主であったが、2013年以降、国内感染例が原因不明のまま散発し増加する傾向がみられており、注意が必要である。

2014年は、第34週以降に国内感染例の報告が相次ぎ、第1週以降の累積で13例となった。第33週までは、まれに週1例報告される程度であったが、第34～37週の間週1～4例報告された。2014年第1～38週までの国内感染13例の内訳は、男性5例、女性8例、年齢中央値が34歳 (範囲：4～72歳) であり、20～30代が中心であっ

た。報告のあった都道府県は、東京都9例、埼玉県、富山県、愛知県、熊本県各1例であった。第22週の1例を除くとすべて有症状者で、主症状は高熱12例と下痢9例であった。

第34～37週に東京都から報告された7例については、同一の飲食店を利用したことが記載されていた。東京都福祉保健局は、9月10日付でカレー等の喫食による腸チフスの集団発生事例を報告した。この報告によれば、少なくとも7症例が、千代田区内の飲食店で調理し提供した食事もしくは弁当の喫食が原因で腸チフスに感染しており、これは、1999年4月に腸チフスに関する感染症発生動向調査が開始されて以降初めての、腸チフスによる食中毒集団発生事例である。

現在、日本における腸チフスは感染症法に基づく3類感染症として、無症状病原体保有者を含む症例の届出（疑似症患者は対象外）が義務づけられている。無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者に対する調査などによって発見されるほか、他の疾患に伴う検査や、健診などにおいて発見されている。医療機関において、持続した発熱やその他特有な症状を呈して受診した患者を診察した医師は、鑑別診断のために腸チフスも念頭に置き、渡航歴に関する問診や検査の依頼を行う必要がある。また、保健所等において、国内感染例として届け出られた症例については、感染源に関する注意深い疫学調査が必要である。分離菌の解析は重要な情報を示唆する場合がある。

チフス菌の感染はパラチフス菌（*Salmonella Paratyphi A*）と同様にヒトに限って起こり、患者および無症状病原体保有者の糞便と尿、それらに汚染された食品、水、手指が感染源となり、経口的に感染する。2010年、米国では国外から輸入されたmamey（果実の一種）の冷凍果肉に関連した複数州にわたる腸チフスの集団発生が報告された。長期保存が可能な食品（輸入された食品や冷凍食品など）は長期にわたり感染源となり得る。このように、渡航歴に加え、場合によっては広域流通する食品に含まれる同一株による発生の可能性も疑い、キャリアからのヒト-ヒト感染や、食品喫食歴の情報収集には工夫することが望ましい。

腸チフスの基本的な予防策は徹底した手洗い（食物を扱う前やトイレの後など）である。今回、同一飲食店の利用客における食中毒事例が確認されたことから、調理従事者は特に衛生管理に留意すべきである。南アジア地域など、腸チフスの高リスク地域に渡航する者に対しては、予防策としてワクチンが用いられることがある。渡航前健康相談による腸チフスに対する啓発が重要と考えられる。

（国立感染症研究所感染症疫学センター）

★平成26年10月1日から、高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが定期接種となりました

平成26年10月1日から平成27年3月31日までは以下の方が対象になります。

1、

対象者	生年月日
65歳となる方	昭和24年4月2日生～昭和25年4月1日生
70歳となる方	昭和19年4月2日生～昭和20年4月1日生
75歳となる方	昭和14年4月2日生～昭和15年4月1日生
80歳となる方	昭和9年4月2日生～昭和10年4月1日生
85歳となる方	昭和4年4月2日生～昭和5年4月1日生
90歳となる方	大正13年4月2日生～大正14年4月1日生
95歳となる方	大正8年4月2日生～大正9年4月1日生
100歳となる方	大正3年4月2日生～大正4年4月1日生
101歳以上の方	大正3年4月1日以前の生まれ

2、60歳から65歳未満の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害やヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害がある方。

但し、すでに「ニューモバックスNP（23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）」を接種したことがある方は対象とはなりません。また、現時点では、定期の予防接種を受ける機会は、平成30年度までの該当する年齢となる年度のみとなります。接種を希望される人はかかりつけ医とよく相談し接種をお願いします。

詳細：

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/haien_kyukin/index_1.html

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第40週 平成26年9月29日(月)～平成26年10月5日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第40週							計	前週	全国(39週)	高知県(40週末累計)		全国(39週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H25/12/30～H26/10/5				H25/12/30～H26/9/28		
インフルエンザ	インフルエンザ		3			1		1	5 (0.10)	10 (0.21)	344 (0.07)	10,803 (225.06)	1,463,648 (297.61)		
小児科	咽頭結核熱				2			1	3 (0.10)	4 (0.13)	852 (0.27)	282 (9.40)	60,400 (19.22)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1		9			1	12 (0.40)	11 (0.37)	3,740 (1.19)	690 (23.00)	218,887 (69.66)		
	感染性胃腸炎	4	21	23	9	1	1	8	66 (2.20)	51 (1.70)	9,154 (2.92)	7,749 (258.30)	737,999 (234.88)		
	水痘		1		5			4	10 (0.33)	21 (0.70)	1,764 (0.56)	1,187 (39.57)	118,125 (37.60)		
	手足口病	1		14	1				16 (0.53)	13 (0.43)	2,079 (0.66)	138 (4.60)	55,075 (17.53)		
	伝染性紅斑								()	()	475 (0.15)	30 (1.00)	21,903 (6.97)		
	突発性発疹		2		9			3	14 (0.47)	17 (0.57)	1,732 (0.55)	541 (18.03)	66,623 (21.20)		
	百日咳								()	()	36 (0.01)	8 (0.27)	1,592 (0.51)		
	ヘルパンギーナ	3	1	1	1	1		5	12 (0.40)	12 (0.40)	1,976 (0.63)	873 (29.10)	130,353 (41.49)		
	流行性耳下腺炎				3			9	12 (0.40)	21 (0.70)	924 (0.29)	1,430 (47.67)	34,090 (10.85)		
	RSウイルス感染症		6		20	1		2	6	35 (1.17)	31 (1.03)	2,942 (0.94)	431 (14.37)	38,573 (12.28)	
眼科	急性出血性結核炎								()	()	3 ()	()	318 (0.47)		
	流行性角結核炎				1				1 (0.33)	()	326 (0.48)	26 (8.67)	15,536 (22.75)		
基幹	細菌性髄膜炎								()	()	3 (0.01)	8 (1.00)	304 (0.64)		
	無菌性髄膜炎				1				1 (0.13)	()	19 (0.04)	15 (1.88)	704 (1.49)		
	マイコプラズマ肺炎		1		3				4 (0.50)	3 (0.38)	134 (0.28)	178 (22.25)	4,438 (9.38)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				1				1 (0.13)	()	7 (0.01)	15 (1.88)	241 (0.51)		
	感染性胃腸炎								()	()	2 ()	137 (17.13)	3,837 (8.11)		
計(小児科定点当たり人数)	11 (4.75)	33 (4.57)	92 (7.81)	13 (4.19)	8 (4.00)	35 (6.93)	192 (6.10)			26,512	24,541 (670.37)	2,972,646			
前週(小児科定点当たり人数)	8 (2.75)	28 (3.85)	100 (8.85)	9 (2.99)	12 (6.00)	37 (7.18)		194 (6.24)							

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第40週							計	前週	全国(39週)	高知県(40週末累計)		全国(39週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H25/12/30～H26/10/5				H25/12/30～H26/9/28		
インフルエンザ	インフルエンザ		0.75			0.20		0.13	0.10	0.21	0.07	225.06	297.61		
小児科	咽頭結核熱				0.18			0.20	0.10	0.13	0.27	9.40	19.22		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.14		0.82			0.50	0.40	0.37	1.19	23.00	69.66		
	感染性胃腸炎	2.00	3.00	2.09	3.00	0.50	1.60	2.20	1.70	2.92	258.30	234.88			
	水痘		0.14		0.45			0.80	0.33	0.70	0.56	39.57	37.60		
	手足口病	0.50		1.27	0.33				0.53	0.43	0.66	4.60	17.53		
	伝染性紅斑										0.15	1.00	6.97		
	突発性発疹		0.29		0.82			1.50	0.47	0.57	0.55	18.03	21.20		
	百日咳										0.01	0.27	0.51		
	ヘルパンギーナ	1.50	0.14	0.09	0.33	0.50	1.00	0.40	0.40	0.63	29.10	41.49			
	流行性耳下腺炎				0.27			1.80	0.40	0.70	0.29	47.67	10.85		
	RSウイルス感染症		0.86		1.82	0.33	1.00	1.20	1.17	1.03	0.94	14.37	12.28		
眼科	急性出血性結核炎												0.47		
	流行性角結核炎				1.00				0.33		0.48	8.67	22.75		
基幹	細菌性髄膜炎										0.01	1.00	0.64		
	無菌性髄膜炎				0.20				0.13		0.04	1.88	1.49		
	マイコプラズマ肺炎		1.00		0.60				0.50	0.38	0.28	22.25	9.38		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				0.20				0.13		0.01	1.88	0.51		
	感染性胃腸炎											17.13	8.11		
計(小児科定点当たり人数)	4.75	4.57	7.81	4.19	4.00	6.93	6.10				670.37				
前週(小児科定点当たり人数)	2.75	3.85	8.85	2.99	6.00	7.18		6.24							

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869